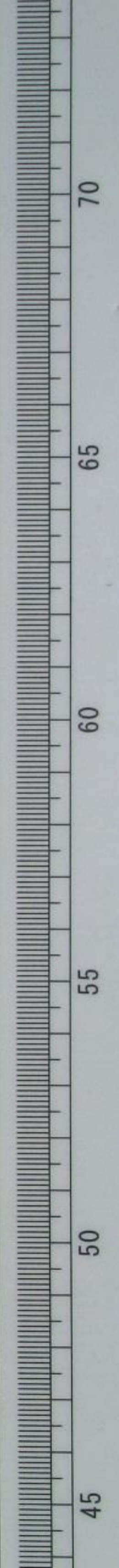
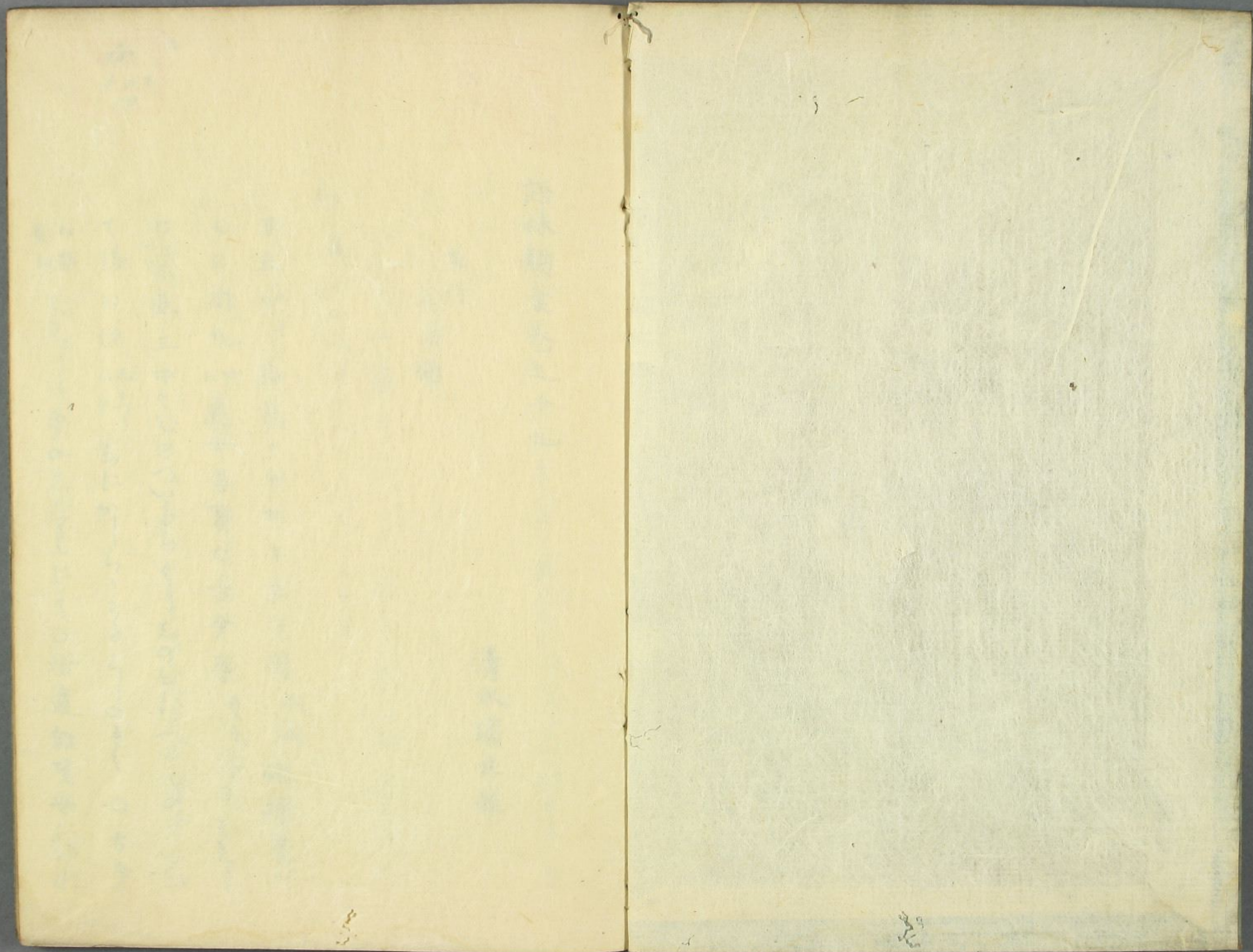


語林類葉

らりるれろ
十九

ホ 2
502
19





宇部保 祭使 山も野もこの祭の能者口同 後平君

らんそく

和名状

らん志也

中勢日記 らん志也のりきもあてねひあま

藍婆鬼

盛衰記十一 白川院御宇ニハ 美暦元年ノ春

一ト云鬼京中ニ充滿テ十歳以前ノ小者十
カ八九ハ取失ハレケレハ。

りの郊

一言

理

拾玉三
住
くーく 思へき 玉を志す ぬーい いたは世とまのーんを

二言

龍

竹取 ちやても 玉のふかき

ア人のて

河輪手輪説也

源若菜

ア人の子れとてさきにいとかとある所也

との路也

ア人料理

料理

和名炊庖

料理兼鳥者

○日本後紀十七十五平

城天皇大同三年七月庚子濟門膳司食長上一

人料理長上一人。類史百七職官部十二同。

江次第二大臣大饗坊

云大饗右料理所立作所

盖料理所者兼用意希物之所也立作所者當座
調進肴物之所也。新猿樂記包丁料理。

五言

ア人ノ客

源初子以書

公事根源二書入ベシ

六言

ア人のふみ

吏法書

字効保

ア人のふみをいふぬくつらう

して〇

七言

又や〜矢きふゆ

中務内侍日記 玉佩とく玉をつなきてつけらるる
又侍まゝにむらかしのうねをつけらるる
ふだんのうねに又や〜矢きふゆの同まゝ
大いのおとろに又や〜矢きふゆ

九言

又や〜矢きふゆ

龍頭鶴首

又花 ちり花

大子の郊

二言

留立

玉葉神祇建長七年十月春日社に行幸ありし
時侍当にさしむて還侍ありしに増鏡
炯考、は侍当のほとに二条油少路月火しき

るわ

竹取龍のゆゑにさるるわあり。源 格 姫 子 女 に あり
てあほうと

類伴

今昔廿五十三共一廣クシテ

了り君 玉鬘幻名

源 玉うねり

五言

類むろく

玉うねり ありあけしとく ありあけく ありあけく ありあけく

ルリノ天蓋
ルリノトホロ
ルリノトヒラ
ルリノ杯
ルリノ国

るりの池

冷造草 伊呂波四十七字哥

るりの池に夢の多をいりてりし山のふもとをうりし池に川
○ 続世継 中矢のまをいりてりし山のふもとをうりし池に川

るりの池に夢の多をいりてりし山のふもとをうりし池に川
○ 続世継 中矢のまをいりてりし山のふもとをうりし池に川

新後 年万寿元年天盃用瑠璃御盞

夫木世四 殷雷門院大神 修きとまき、あけの極本いつて来てるりのまをいりてりし池に川

○ 増鏡 北野雪 るりのてんうみ天にうやうや

凡の郊

三言

靈芝

芝州

記畧天長四年八月乙巳皇后宮亮正五位下大
 枝朝臣總成獻芝草四株其中大者長二尺許其
 為狀也紫丹色本一而末二枝徃々有節々間一
 寸許境曲不直竅未差白總成曰典侍繼子女王
 禁中宿所板敷下生。同天長七年八月乙卯内
 豎真野王上芝草一莖。

人十〇

れきさん

拾遺負外

まきさんのちそののちその秋風をあらき一人のそりてん

夫木世山

れん中 大納言の室に之

中務内侍日記 花山大納言ふくふとまきん中く。

五言

水の神

神冥アル神也

土佐日記 水の住み明神まきのうみどう

六言

冷泉院

花若菜 帝王系図云弘仁十四年四月十一日遷

冷然院十七年讓位於皇太子天曆八年三月十

一日改冷然院為冷泉院 泉上故然

エタリニ見

十言

ねいせき歩ふあはら 月水

早花

○今珍條 早花

ふこい九月ちあふらせぬ ○狭衣二上 廿七 ぬて
人のあふ事 七 ちあふらして ○同 廿 まいせ 廿 ちあふ
もつあふさの 七 ちあふらして ○

ねいの 廿四 のり 廿四 のり 廿四 懐妊也

早花 廿四

ふ 廿四 のり 廿四 のり 廿四

ろの部 一 言

槽

和泉抄抄

ろも 廿四 のり 廿四 のり 廿四 懐妊也

古今秋上

ろ 廿四 のり 廿四 のり 廿四 懐妊也

コレハ槽也 契説

二言

ろく 禄

玉篇 禄 賞物也

○竹取 志 ちあふらして

○

三言

六座

讚岐日記 花山院のそとにありし志丹の舟と入る後
一坐院にそとてしものさくろくぎあてしん
とほりまらるるをい

録事

江次第二 大臣大饗 定録事 抄云為勸酒於上

官座差其人為録事也

ろくろ

ろくろ係 春日詣 市つきともろくにひきて ○和名
造作具 輓轆 ○ろくろ係 吹上 ちくろくろくともあて
ちくろくともろくろくものくく ○和名 鉦

ろくろ 勿論何

源 若菜 ○ろくろ係 同

路養

類史八弘仁十四年十一月云又運悠紀王墓
兩國雜物擔夫各給路養

四言

六宗

江次第抄三延曆廿一年講用六宗僧所謂華嚴
天台法相三論俱舍成實等宗也

六言

六条家

袋中子三五十

六波羅様

盛衰記一何事トト云ケレハ天下ノ
人皆學之

七言

ろくろのつらき六衛府
竹取ろくろのつらきあはせて二子人の心を

